

## 保健体育の授業の課題

- 1 球技の単元において、バスケットボールやサッカーのゲームに終始している授業が見られます。
- 2 陸上競技の記録のみやバスケットボールのシュートの成功本数のみで評価し、身体能力の高い生徒だけが「十分満足できる」と評価する授業が見られます。
- 3 グループで練習方法を考えたり、作戦を立てたりする時間が多く、生徒の運動する時間が少ない授業が見られます。

## 授業改善のための取組として（案）

### □ 単元における指導計画を見直し、指導内容の明確化を図りましょう。

- 取り上げた運動に応じて、体育分野の各領域における「技能(運動)」「態度」「知識、思考・判断」の3つの内容を明確にし、何を教えるのかをはっきりさせる。

#### 【授業づくりの例】

第1学年における球技では、「サッカーやバスケットボールのゲームをする」だけでなく、ゴール型のゲームを通して技能の学習内容である「ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること」を一人一人が身に付けることができるような授業を展開する。

### □ 「運動の技能」の観点は、技能の質的な高まりや深まりの変容についても評価しましょう。

- 本時の目標を実現するための基本的な動きや効率のよい動きなどを身に付けさせる授業を展開し、その実現状況の評価する。
- 「運動の技能」は、単元の前半における生徒の技能の状況を捉えておき、その後、単元の後半において、指導の経過とともに変容していく生徒一人一人の実現状況を詳細に評価するなど、複数回の評価機会を設定する。

#### 【評価の例】

器械運動（マット運動）の評価では、単元の前半は教師による観察を中心に状況を把握し、単元の後半生徒の演技をV T Rに撮影して動きの質的な高まりや深まりを評価する。

### □ 話合いのポイントの明確化を図ったり、指導方法を工夫したりして運動時間と運動量を確保しましょう。

- 生徒に話し合う目的や見通しをもたせるなど、話合いを効率的に行い、運動時間と運動量を確保する。
- 練習の順番を待っている時間や自分の試合がない時間に、運動に必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れる。

#### 【効率的な話合いの例】

バレーボールの授業では、話合いを短時間で進行できるよう、あらかじめ司会を決めておいたり、互いに指摘し合うポイントを学習カード等で提示したりする。

### 【コラム】 文部科学省指導資料について

文部科学省では、学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえた指導が円滑に行われるよう、各種指導資料を作成し、ホームページに掲載しています。

- ・学校体育実技指導資料第9集「表現運動及びダンス指導の手引」
- ・学校体育実技指導資料第2集「柔道指導の手引(三訂版)」
- ・新学習指導要領に基づく中学校・高等学校向け「体づくり運動」「体育理論」リーフレット

- ・学校体育実技指導資料第7集「体づくり運動(改訂版)」
- ・新学習指導要領に基づく中学校向け「ダンス」リーフレット
- ・学校体育実技指導資料第1集「剣道指導の手引」参考資料

◆ 文部科学省掲載ページアドレス

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/) yu1Jitsu/l330884.htm